



令和7年6月13日

課名	産業労働部観光課 〔「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 実行委員会事務局〕
担当・ 連絡先	宮崎、山下 内線 5281, 5287 直通 086-226-7843

お知らせ

サンドラ・シント氏と子どもたちとのワークショップ等を開催します

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」2024の参加アーティストであるサンドラ・シント氏が来岡し、奈義町の子どもたちとのワークショップやアーティスト・トークを開催しますので、お知らせします。

本件は、県政記者クラブ、津山市政記者クラブに同時にお知らせしています。

記

1 開催日

令和7年6月25日（水）

2 イベント

(1) サンドラ・シントさんによるアーティスト・トーク

森の芸術祭の地域文化アドバイザーである太田三郎氏と岸本和明氏の2名を交え、シント氏が作品やアートへの思いなどを語ります。

①時 間：13:30～15:00

②場 所：奈義町現代美術館（勝田郡奈義町豊沢441）

③参加者：サンドラ・シント氏、太田三郎氏（美術家）
岸本和明氏（奈義町現代美術館館長）

④募集人数：30名程度

⑤参加費：無料

⑥申込方法：

6月13日（金）から23日（月）まで電子申請で受付（先着順）

電子申請URL：

https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=48743



(2) サンドラ・シントさんの“お絵描き”ワークショップ

森の芸術祭2024開催中、奈義町の子どもたちがシント氏のアート作品のために絵を描いてくれました。その子どもたちを招待し、シント氏自らがワークショップを開催します。※一般向けの募集はありません。

①時 間：16:00～17:30

②場 所：奈義町現代美術館（勝田郡奈義町豊沢441）に集合
奈義町文化センター作業棟（勝田郡奈義町豊沢327-1）に移動予定

③参加者：奈義町の子どもたち、その保護者 15名程度（予定）

<参 考>

サンドラ・シント (Sandra Cinto)

1968年ブラジル生まれ。現在はサンパウロ在住。
ドローイングを出発点に、建築や彫刻、絵画、インスタレーションなどを作品に取り入れることで言語の限界を探る試みを続けている。銀座メゾンエルメスフォーラムやイタウ・クルトゥラウ(2020年)、ダラス美術館(2019年)、シンシナティ現代美術センター(2017年)などで個展を開催。イニョチン、MAC/USP(サンパウロ大学現代美術館)、サンパウロ州立美術館ピナコテカ、MASP(サンパウロ美術館)、MAM(サンパウロ近代美術館)、MAR(リオ美術館)、ワシントン・ナショナル・ギャラリー、ニューヨーク近代美術館、オルブライト=ノックス美術館、ガリシア現代美術センター、ダラス美術館などに作品が収蔵されている。2024年8月末には、7年間に及ぶプロジェクトの成果として、これまでで最大規模となる作品(音響的効果を備えた2点のモニュメンタルなタペストリー)がサンパウロの文化芸術劇場(Teatro Cultura Artística)の大コンサートホールでお披露目された。



©FilipeBerndt

サンドラ・シント氏によるパーマネント作品の概要

作品名：未来のための宇宙論 (Cosmology for the Future)

概 要：

これまでも各地で地元の人々や子どもたちと共に作品を制作してきたシント氏は、現在、奈義町現代美術館に併設された図書館の談話室にて、奈義町の子どもたちと共同で新作の壁画を制作するプロジェクトを進めている。

森の芸術祭 2024 では、作家のドローイングが施された家具と子どもたちがワークショップで描いたドローイングを併せて展示したが、今後、子どもたちのドローイングを構図に組み込みシント氏がデザインした壁画が設置される予定である。

森の芸術祭 2024 のパーマネント作品 (恒久設置作品) として、今年の夏頃に完成予定。



森の芸術祭 2024 での展示風景

森の芸術祭 岡山

FOREST FESTIVAL OF
THE ARTS OKAYAMA

森の芸術祭 晴れの国・岡山

無料

サンドラ・シントさん によるアーティスト・トーク

2025/6/25 Wed. 13:30-15:00

地域文化アドバイザー

地域文化アドバイザー

サンドラ・シント

太田 三郎

岸本 和明

(美術家)

(奈義町現代美術館館長)

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」2024の参加アーティストのサンドラ・シントさんが、森の芸術祭地域文化アドバイザーのお二人を交え、アートや作品への思いを語ります。

サンドラさんは、現在、奈義町現代美術館に併設された図書館にて、奈義町の子どもたちと共同で新作の壁画を制作するプロジェクトを進めています。

電子申請はこちらから

会場 | 奈義町現代美術館

勝田郡奈義町豊沢441

定員 | 先着30名程度(電子申請でお申し込みください。)



https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=48743

サンドラ・シント(Sandra Cinto)

1968年ブラジル生まれ。サンパウロ在住。

ドローイングを出発点に、建築や彫刻、絵画、インスタレーションなどを作品に取り入れることで言語の限界を探る試みを続けている。銀座メゾンエルメスフォーラムやイタウ・クルトゥラウ(2020年)、ダラス美術館(2019年)、シンシナティ現代美術センター(2017年)などで個展を開催。イニョチン、MAC/USP(サンパウロ大学現代美術館)、サンパウロ州立美術館ピナコテカ、MASP(サンパウロ美術館)、MAM(サンパウロ近代美術館)、MAR(リオ美術館)、ワシントン・ナショナル・ギャラリー、ニューヨーク近代美術館、オルブライト=ノックス美術館、ガリシア現代美術センター、ダラス美術館などに作品が収蔵されている。2024年8月末には、7年間に及ぶプロジェクトの成果として、これまで最大規模となる作品(音響的效果を備えた2点のモニュメンタルなタペストリー)がサンパウロの文化芸術劇場(Teatro Cultura Artística)の大コンサートホールでお披露目された。

©FilipeBerndt